

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年12月12日

【四半期会計期間】 第13期第2四半期(自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日)

【会社名】 株式会社ビューティガレッジ

【英訳名】 BEAUTY GARAGE Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 野村 秀輝

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第2四半期 連結累計期間	第13期 第2四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日	自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日	自 平成25年5月1日 至 平成26年4月30日
売上高 (百万円)	3,081	3,514	6,457
経常利益 (百万円)	46	183	295
四半期(当期)純利益 (百万円)	28	113	172
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	28	113	172
純資産額 (百万円)	1,121	1,370	1,266
総資産額 (百万円)	2,122	2,712	2,293
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	23.71	95.93	145.91
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	23.53	94.89	144.96
自己資本比率 (%)	52.8	50.5	55.2
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	55	175	50
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	42	36	52
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	25	65	14
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	602	758	551

回次	第12期 第2四半期 連結会計期間	第13期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日	自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.95	69.61

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

平成26年11月11日に「アイラッシュ（まつげエクステ）サロン」に特化した商材の卸事業、開業・経営支援事業を運営することを目的とした連結子会社株式会社アイラッシュガレージを設立いたしました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間は、政府の景気対策や日本銀行の金融施策を背景に企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しなど、全体として緩やかな回復基調が続いておりますが、消費税増税や原材料価格の上昇等の影響から、先行き不透明な状況となっております。

また、当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましても、依然として店舗間の競争が激しく、さらに消費税増税後の反動減からの回復が遅れるなど厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループでは新規顧客の獲得や既存ユーザの利用率向上に向けて各種プロモーション活動を実施すると共に、商品ラインナップ強化、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」の改善などを継続して実施いたしました。また、その他周辺ソリューション事業においてはサービスの強化など各種取組を実施いたしました。

以上の結果、平成26年10月末時点のアクティブユーザ（過去1年間に1回以上購入したユーザ）は72,430口座（前年同期比13,462口座増）に伸長し、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,514,036千円（前年同期比14.1%増）となりました。

物販事業の構成比率の増加及び店舗設計事業における売上総利益率の改善により、当第2四半期連結累計期間における売上総利益は1,202,523千円（前年同期比17.0%増）となりました。

また、イベントへの出展やカタログ発刊を始めとして積極的なプロモーション施策を実施しつつも販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、営業利益176,634千円（前年同期比211.4%増）、経常利益183,553千円（前年同期比292.8%増）、四半期純利益113,744千円（前年同期比305.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、主要都市10ヶ所のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

物販事業売上高の約6割を占める当社の最も重要な販売経路である「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由の売上高は前年同期比25.9%増と順調に伸長し続けております。

商品別でみるとストック型収益商材である化粧品や消耗品の売上高は前年同期比45.7%増と大幅に伸長しており、当社の基本戦略である「フロー&ストック型収益構造への転換」は堅調に進捗しております。

美容業界最大のイベントである「BEAUTY WORLD JAPAN 2014」（開催地：東京）への出展やカタログ通販誌「BG STYLE」の最新刊を発行するなど、積極的な販売促進活動の実施に加え、商品ラインナップの拡充や「BEAUTY GARAGE Online Shop」の利便性の向上施策を継続的に実施いたしました。

この結果、当事業の売上高は2,777,352千円（前年同期比19.5%増）、セグメント利益は229,175千円（前年同期比57.7%増）となりました。

#### 店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しております。平成26年5月には東京・金沢・福岡・大阪に続き5拠点目となる名古屋支店を開設し、サービス提供エリアを拡大いたしました。

デザイナーの増員や積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓に努めましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動による影響が想定以上に大きかったことから、当事業の売上高は599,036千円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は24,797千円（前年同期比4.6%増）となりました。

#### その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、e-ラーニングサービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市10ヶ所のショールームを通して提供しております。

教育事業強化を目的としたセミナー・講習会のサービスメニューの拡充や各種サービスのサイトの利便性向上などの各種施策を実施いたしました。

この結果、当事業の売上高は137,648千円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は16,246千円（前年同四半期はセグメント損失18,999千円）となっております。

## (2) 財政状態の分析

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて19.8%増加し、2,457,072千円となりました。これは、主に現金及び預金の増加207,014千円、商品の増加86,425千円、仕掛品の増加64,682千円及び売掛金の増加37,209千円によるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、255,455千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加13,065千円によるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて32.3%増加し、1,177,928千円となりました。これは、主に買掛金の増加75,170千円、賞与引当金の増加59,467千円、未払法人税等の増加51,252千円、短期借入金の増加27,500千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加25,814千円によるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて20.5%増加し、164,385千円となりました。これは、主に長期借入金の増加21,578千円によるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%増加し、1,370,214千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少21,276千円があったものの、当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加113,744千円があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ207,014千円増加し、758,276千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、175,856千円（前年同期比219.4%増）となりました。これは、主にたな卸資産の増加151,107千円及び法人税等の支払額49,913千円があったものの、税金等調整前四半期純利益183,553千円の計上、仕入債務の増加75,170千円、その他の引当金の増加60,394千円及び前受金の増加46,111千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、36,098千円（前年同期比15.2%減）となりました。これは、主に敷金保証金の差入による支出14,087千円、有形固定資産の取得による支出13,836千円及び無形固定資産の取得による支出9,454千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、65,251千円（前年同期比155.3%増）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出52,608千円及び配当金の支払額21,122千円があったものの、長期借入れによる収入100,000千円及び短期借入れによる収入30,000千円があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	523,607	7.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 金額は製造原価によっております。

仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
物販事業	1,854,649	+18.1
その他周辺ソリューション事業	49,606	2.5
合計	1,904,255	+17.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 金額は仕入価格によっております。

受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	756,031	+22.6	255,545	+113.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	販売高(千円)		前年同四半期比(%)
		前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	
物販事業		2,323,341	2,777,352	+19.5
	理美容機器	1,785,314	1,993,641	+11.7
	化粧品等	538,027	783,710	+45.7
店舗設計事業		636,582	599,036	5.9
その他周辺ソリューション事業		121,089	137,648	+13.7
合計		3,081,013	3,514,036	+14.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,232,000
計	4,232,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年12月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,192,400	1,192,400	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	1,192,400	1,192,400		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年8月1日～ 平成26年10月31日 (注)	10,400	1,192,400	5,850	268,170	5,850	219,437

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

平成26年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
野村 秀輝	東京都世田谷区	404,000	33.88
供田 修一	東京都杉並区	168,000	14.08
野村 貴久	石川県金沢市	64,000	5.36
HSBC FUND SERVICES A/C 006JF (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	LEVEL 13,1 QUEEN'S ROAD CENTRAL,HONG KONG (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	56,300	4.72
樺島 義明	東京都世田谷区	56,000	4.69
勝 憲司	東京都港区	40,000	3.35
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6番1号	36,800	3.08
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4番地	27,400	2.29
ビューティガレッジ従業員持株会	東京都世田谷区桜新町1丁目34番25号	22,300	1.87
山本 陽一	東京都港区	20,000	1.67
計		894,800	75.04

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,192,100	11,921	単元株式数は100株であります。権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	1,192,400		
総株主の議決権		11,921	

## 【自己株式等】

平成26年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					

(注) 単元未満株式の買取請求により、47株の自己株式を取得しております。その結果、平成26年10月31日現在の自己株式数は47株となっております。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年8月1日から平成26年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年5月1日から平成26年10月31日まで)の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	551,261	758,276
売掛金	436,759	473,969
商品	805,551	891,977
仕掛品	8,535	73,217
その他	255,077	267,532
貸倒引当金	6,364	7,899
流動資産合計	2,050,820	2,457,072
固定資産		
有形固定資産	69,487	72,539
無形固定資産		
のれん	529	-
ソフトウェア	40,079	37,689
その他	116	116
無形固定資産合計	40,725	37,806
投資その他の資産	132,044	145,110
固定資産合計	242,258	255,455
資産合計	2,293,078	2,712,528
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	411,500	486,670
短期借入金	-	27,500
1年内返済予定の長期借入金	60,208	86,022
未払法人税等	52,465	103,718
賞与引当金	23,880	83,348
製品保証引当金	9,792	16,152
受注損失引当金	350	1,277
その他	332,223	373,239
流動負債合計	890,420	1,177,928
固定負債		
長期借入金	69,352	90,930
ポイント引当金	27,705	31,181
資産除去債務	23,945	24,039
その他	15,363	18,235
固定負債合計	136,366	164,385
負債合計	1,026,786	1,342,313
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	262,320	268,170
資本剰余金	213,587	219,437
利益剰余金	789,621	882,089
自己株式	-	106
株主資本合計	1,265,528	1,369,590
新株予約権	-	236
少数株主持分	763	387
純資産合計	1,266,291	1,370,214
負債純資産合計	2,293,078	2,712,528

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
売上高	3,081,013	3,514,036
売上原価	2,052,966	2,311,513
売上総利益	1,028,047	1,202,523
販売費及び一般管理費	1 971,332	1 1,025,889
営業利益	56,714	176,634
営業外収益		
受取利息及び配当金	73	54
為替差益	-	4,111
その他	2,114	4,080
営業外収益合計	2,187	8,246
営業外費用		
支払利息	874	796
為替差損	10,866	-
株式交付費	-	347
その他	429	183
営業外費用合計	12,170	1,327
経常利益	46,731	183,553
特別利益		
固定資産売却益	90	-
特別利益合計	90	-
特別損失		
本社移転費用	4,300	-
特別損失合計	4,300	-
税金等調整前四半期純利益	42,522	183,553
法人税、住民税及び事業税	31,599	100,938
法人税等調整額	17,102	30,754
法人税等合計	14,496	70,184
少数株主損益調整前四半期純利益	28,025	113,369
少数株主損失( )	-	375
四半期純利益	28,025	113,744

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,025	113,369
四半期包括利益	28,025	113,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,025	113,744
少数株主に係る四半期包括利益	-	375

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	42,522	183,553
減価償却費	18,745	14,610
のれん償却額	1,059	529
貸倒引当金の増減額（は減少）	2,485	1,534
ポイント引当金の増減額（は減少）	1,700	3,475
製品保証引当金の増減額（は減少）	1,081	6,360
その他の引当金の増減額（は減少）	57,312	60,394
受取利息及び受取配当金	73	54
支払利息	874	796
株式交付費	-	347
有形固定資産除売却損益（は益）	90	-
売上債権の増減額（は増加）	35,065	37,209
たな卸資産の増減額（は増加）	62,021	151,107
仕入債務の増減額（は減少）	3,682	75,170
未払金の増減額（は減少）	19,775	12,713
前受金の増減額（は減少）	3,037	46,111
その他	59,904	34,732
小計	140,540	226,531
利息及び配当金の受取額	107	81
利息及び保証料の支払額	944	843
法人税等の支払額又は還付額（は支払）	84,652	49,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,050	175,856
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,140	840
定期預金の払戻による収入	5,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	45,346	13,836
有形固定資産の売却による収入	95	-
無形固定資産の取得による支出	9,733	9,454
敷金保証金の差入による支出	-	14,087
敷金保証金の回収による収入	11,666	500
資産除去債務の履行による支出	2,720	-
その他	780	780
投資活動によるキャッシュ・フロー	42,559	36,098
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	30,000
短期借入金の返済による支出	-	2,500
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	40,960	52,608
社債の償還による支出	10,000	-
株式の発行による収入	-	11,352
自己株式の取得による支出	-	106
配当金の支払額	23,479	21,122
新株予約権の発行による収入	-	236
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,560	65,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,175	2,005
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	46,226	207,014
現金及び現金同等物の期首残高	556,629	551,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 602,856	1 758,276

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
給料手当	235,072千円	251,917千円
賞与引当金繰入額	51,786 "	53,653 "
貸倒引当金繰入額	1,030 "	1,536 "
ポイント引当金繰入額	19,378 "	22,784 "
製品保証引当金繰入額	11,351 "	16,152 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
現金及び預金	602,856千円	758,276千円
預入期間が3か月を超える定期預金	"	"
現金及び現金同等物	602,856千円	758,276千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年7月26日 定時株主総会	普通株式	23,640	20.00	平成25年4月30日	平成25年7月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成26年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年7月25日 定時株主総会	普通株式	21,276	18.00	平成26年4月30日	平成26年7月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,323,341	636,582	121,089	3,081,013		3,081,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,133	38,350	1,222	54,707	54,707	
計	2,338,475	674,933	122,311	3,135,720	54,707	3,081,013
セグメント利益又は損失( )	145,283	23,706	18,999	149,990	93,275	56,714

(注) 1. セグメント利益又は損失( )の調整額 93,275千円には、セグメント間取引消去7,340千円、未実現利益の調整額 251千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 100,364千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,777,352	599,036	137,648	3,514,036		3,514,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,461	22,875	382	33,720	33,720	
計	2,787,814	621,911	138,031	3,547,756	33,720	3,514,036
セグメント利益	229,175	24,797	16,246	270,219	93,585	176,634

(注) 1. セグメント利益の調整額 93,585千円には、セグメント間取引消去6,782千円、未実現利益の調整額467千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 100,835千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	23.71 円	95.93 円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	28,025	113,744
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	28,025	113,744
普通株式の期中平均株式数(株)	1,182,000	1,185,641
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	23.53 円	94.89 円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	8,828	13,062
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年12月11日

株式会社 ビューティガレッジ  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	片岡久依
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	淡島國和

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティガレッジの平成26年5月1日から平成27年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年8月1日から平成26年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年5月1日から平成26年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティガレッジ及び連結子会社の平成26年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。